

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	11
	令和	2年 2月19日
	午前・午後	1時00分

議会名	令和 2年 第 1回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 8 番	金子 保利	
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 地方公務員法と地方自治法の一部改正について (1) 佐野市非常勤特別職について	<p>① 佐野市非常勤特別職の職種は、別表によると、教育委員会委員から生活相談員までで「62職」あります。これらの職で「会計年度任用職員」へ移行する職としない職の主なものについて、伺います。</p> <p>② 町会長、環境衛生委員については、どのような区分になり、また、二つの上部組織はどのような扱いになりますか。</p> <p>③ 町会長連合会へ依頼していた40種もの委員会の扱いと要望書などは町会を通すことになっていたと思います。今後どのようになりますか。</p> <p>④ 町会長、環境衛生委員などの表彰制度は、どのような扱いになりますか。</p> <p>⑤ 現在、臨時職員は何人おられ、一般的な待遇について、伺います</p> <p>⑥ 臨時職員から会計年度任用職員へ移行に伴い賃金や費用弁償等の待遇や再雇用についての説明会は、いつ頃開かれたのでしょうか。</p> <p>⑦ 会計年度任用職員に採用される職員の年間所得や待遇に変化はありますか。</p>		

<p>2. 佐野市の防災、減災の対応と取組みについて</p>	
<p>(1) 防災士の活動について</p>	<p>① 現在、佐野市の防災士は、何人おられますか</p> <p>② 公費の補助金は一人当たりいくらなのか。また、自費で防災士になられた方は、おられますか。</p> <p>③ 防災士としての研修会は、どのような内容の訓練研修を何回実施されましたか。</p> <p>④ 佐野市防災士連絡会は、地域防災を支える団体であることを各町会へ情報提供されましたか。</p> <p>⑤ 台風19号に関して、個々の防災士がどのような支援活動されたのか聞き取り調査を行い情報収集されましたか。</p> <p>⑥ 防災士は、地域社会の防災リーダーであることを町会や地域の自主防災会等へ周知を図ると共に情報の共有化に取り組まれることが肝要であります。周知方法と情報共有化の取組みについて、お伺いします。</p>
<p>(2) 市職員の災害ボランティア活動について</p>	<p>① 市職員の災害ボランティアセンターでのおおよその活動人数について、それから休日の殆どを災害ボランティアとして、活動された職員は、何人おられたか把握しておりますか。</p> <p>② 市職員の災害ボランティア活動の感想について、お伺いします。</p>
<p>(3) 二つの災害ボランティアセンターについて</p>	<p>① 佐野駅南ボランティアセンターの立ち上げに佐野市役所が協力者に名を連ねていますが、どのような協力をしたのか。</p> <p>② 佐野市は、二つ目のボランティアセンターが立ち上がることで混乱を招くことはお考えにならなかったのでしょうか。</p> <p>③ 佐野駅南ボランティアセンターがボランティア支援を行った人数、件数や活動記録日誌などの情報は、全て佐野市へ報告が有るのでしょうか。</p> <p>④ 支援物資をお配りしている写真がありました。独自に寄附金、義援金、支援物資等は、自由に受入れ、費消することができるのでしょうか。</p> <p>⑤ ボランティア活動は、何処でやっても良いとは思いますが、こと日本クリケット協会の方々には、</p>

<p>(4) 災害ボランティアセンターについて</p>	<p>被災者を限定せず、全被災者を対象にして活動して欲しかったと痛切に感じております。当局の実直な感想をお聞きしたい。</p> <p>① 災害対策本部と災害ボランティアセンターとの連携は、どのような問題、課題が浮彫りになり、また、反対に連携がうまく取れた事例等について、お伺いします。</p> <p>② 佐野市の将来を展望し、多くの官民の各種団体に声を掛け、例えば「佐野市役所都市建設部ボランティアの会」なるものを立ち上げ、研修や訓練を重ねて、有事に備えることが大事なことであると思います。是非、官民の各種団体の災害ボランティアの立ち上げに取り組んで頂きたいと提案いたしますと共に当局のお考えをお聞きします。</p> <p>③ 台風19号の被害を受け、市内外から多くのボランティアの皆さんにご支援頂きました。感謝の一言であります。近年は、災害にいつ何時見舞われるのか分からない状況の中で、当局は、おいで頂いた多くのボランティアの皆さんと次に繋がるような強い絆や、コミュニケーションは、取れたと思われませんか。</p>
-----------------------------	--